

## 第1号議案

# 平成29年度事業実績報告書

### (要旨)

平成29年度は、会員各位の協力のもと、事業計画に定めた産業廃棄物の適正処理を通じた生活環境の保全、資源循環型社会の形成に寄与するような各種の事業を進めることができました。

ここに、会員各位のご協力、ご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、次のとおり事業の実施状況を報告いたします。

## I 継続事業

### 1 産業廃棄物の処理及び再生利用に係る相談、指導及び資源の循環的な利用促進事業

#### (1) みやざきリサイクル製品認定制度事業

一定の基準を満たした、廃棄物を再利用して製造されたリサイクル製品を広く一般事業者から募集し、協会の役員で構成するリサイクル製品認定検討委員会で事前審査等を行い、外部有識者等からなる認定審査委員会の審査を経て認定を行った。

認定製品については、新聞広告をはじめ、県や協会のホームページに掲載したほか、製品紹介のパンフレット等を作成し、広く県民一般に製品情報を提供した。

#### ① 募集要領、基準書等の作成

ア 「みやざきリサイクル製品認定制度の手引き」作成

イ 「みやざきリサイクル認定製品募集のお知らせ」(チラシ)作成

ウ 協会ホームページに制度の概要、募集要領、手引き、申請様式等を掲載

#### ② リサイクル製品の認定

ア 申請受付期間

平成29年8月7日(月)～9月8日(金)

イ 募集品目

◇土木建築資材 ◇農業用資材 ◇有機系土木・園芸資材 ◇燃料資材 の4品目

ウ 申請窓口

一般社団法人宮崎県産業廃棄物協会

エ 申請者数

7事業者13製品

オ 認定製品

再生クラッシャーラン(RC-40)5件、再生砂1件、オビノマキ(人工薪)1件

ひむかバーク(花と野菜の土他)4件、エコチップ(畜産用敷料)1件、瓦チップ1件

カ 認定証交付式

日 時：平成29年11月16日(木) 13:30～

場 所：ホテルニューウエルシティ宮崎

出席者：認定事業者7事業所10名、審査委員4名、宮崎県3名、産業廃棄物協

会役員5名、事務局3名（計25名）

③ 認定製品の普及促進

ア 製品紹介パンフレットの作成

イ 製品紹介パネルの作成

ウ リサイクル製品認定（7事業者13製品）結果の新聞紙面掲載

宮崎日々新聞：11月17日及び11月18日付

建設新聞：11月21日付、建設情報新聞：11月18日付

エ 協会ホームページへの掲載

オ 宮崎県環境森林部循環社会推進課ホームページへの掲載依頼

カ パネル展の開催

・「環境フェスタ2017夏」

日時等 平成29年8月6日（日）

場 所 エコクリーンプラザみやざき

・「環境フェスタ2018冬」

日時等 平成30年2月11日（日）

場 所 エコクリーンプラザみやざき

キ「第24回みやざきテクノフェア」への出展

期 間 平成29年11月22日（水）～23日（木・祝）

場 所 宮崎県体育館

出展製品 再生コンクリート二次製品、ひむかパーク「花と野菜の土」他

再生クラッシャーラン(RC40 スラッジ入り)、宮崎テコラ(園芸用資材)

瓦チップ、エコチップ(畜産用敷料)、再生クラッシャーラン(RC40)

出展企業 和光コンクリート工業(株)、(有)エコロ、(株)藤元建設、(有)丈真商事  
原田建設(株)

④ 審査委員会の運営

ア 審査委員会委員との事前協議

日 時：平成29年7月21日（金）13：30～

場 所：ホテルニューウエルシティ宮崎

イ 協会役員による現地調査の実施

ウ 審査委員会事前審査資料の作成

エ 本審査資料作成

オ 審査委員会の開催

日 時：平成29年10月16日（月）15：30～

場 所：ホテルニューウエルシティ宮崎

カ 審査結果報告書、委員長意見書作成

⑤ フォローアップ調査の実施

12月から1月にかけて、認定製品の安全性確認のため、フォローアップ調査実施

## 2 不法投棄及び不適正処理の防止に関する事業

### (1) 不法投棄防止啓発キャンペーン

県内における不法投棄を早期発見し、被害の未然防止を図るため「宮崎県不法投棄情報ネットワーク連絡会議」に参画し、情報交換を行った。

また、毎年9月24日から10月1日まで全国的に展開される「環境衛生週間」にあわせて、行政機関や警察などと連携しながら、県内4支部の各支部ごとに不法投棄防止の街頭キャンペーンや不法投棄廃棄物の撤去・清掃、排出事業者訪問などの啓発活動等を行った。

| 支部名 | 実施日    | 実施内容                                | 参加者数 |
|-----|--------|-------------------------------------|------|
| 県央  | 9 / 26 | 啓発パレード、不法投棄廃棄物の撤去・清掃、チラシ・ポスター等配布    | 78名  |
| 県南  | 9 / 27 | 街頭キャンペーン、排出事業者訪問、チラシ等配布             | 37名  |
| 県西  | 9 / 28 | 街頭キャンペーン、排出事業者訪問、チラシ・マニフェストマニユアル等配布 | 73名  |
| 県北  | 9 / 26 | 啓発パレード、不法投棄廃棄物の撤去・清掃                | 69名  |

### (2) 全国ごみ監視ウイーク

5月30日（ゴミゼロの日）から6月5日（環境の日）まで展開される「全国ごみ不法投棄監視ウイーク」の行事に参加し、一般市民や事業者、行政機関等と一体となって不法投棄廃棄物の撤去や啓発活動を行った。

### (3) クリーンアップ宮崎参加事業

11月12日（日）に実施された県民総ぐるみの環境美化活動「クリーンアップ宮崎」に参加し、ごみや不法投棄廃棄物の撤去作業を地域住民、関係行政機関と共同で実施した。

### (4) 適正処理パネル展

各支部において、環境衛生週間等に合わせて、適正処理のためのあり方等について、一般県民向けに啓発パネル展を開催した。

### (5) 環境フェスタ参加事業

エコクリーンプラザみやざきにおいて開催の「環境フェスタ2017夏」及び「環境フェスタ2018冬」に参加し、一般県民を対象に産業廃棄物の適正処理のためのパネル展、参加者アンケートを実施し、理解を深めてもらうとともに、ステージイベントにおいて協会のPRを行った。

- (6) 産業廃棄物適正処理啓発看板の整備  
修繕8箇所、新設1箇所

## II その他事業

### 1 会員相互の連帯協調及び業界秩序確立のために必要な事業

#### (1) 表彰事業

協会表彰規程に基づき、通常総会の場で功績顕著な個人、事業所の表彰を行った。

- ◇ 表彰日 平成29年6月7日(水)
- ◇ 場 所 ホテルスカイタワー
- ◇ 被表彰者 功労者2名、優良事業所1社、優良従事者4名

#### (2) 後継者育成事業

産業廃棄物業界にとって後継者や若手従業員の育成は、極めて重要・不可欠な課題であることから、青年部を中心に研修会や先進地視察、他県との交流会等を実施し、人材育成に努めた。

また、青年部座談会を開催し、業界内においても若い後継者が増えてきていることから、若い人の感覚を取り入れお互いが協力して業界の健全発展のための方策等について協議・検討を行った。

#### (3) 環境自主行動計画の実施

(公社)全国産業廃棄物連合会が策定した「低炭素社会実行計画」に基づき、温室効果ガス排出量の削減等を目指して、計画の周知・普及啓発、会員企業を対象として省エネ対策等の取組事例、温室効果ガス排出量削減ツール等の情報提供を行い、企業ができるところから取り組んだ。

また、CSR2プロジェクト(企業の社会的責任)として、6月9日(金)に宮崎港東埠頭において、九州一斉の清掃・廃棄物撤去作業を青年部を中心に会員37名が参加して実施した。

さらに、10月26日(木)には、山本小学校(川南町)において、2月19日(月)には、八代小学校(国富町)において、小学生を対象とした「出前環境学習」を実施し、将来を担う世代を対象に、豊富な経験と知識を有する協会会員がゴミ減量やリサイクル等について共に学び、日常生活における実践行動につながるような学習の場を提供した。

#### (4) 各種情報の提供

国からの法・政省令改正情報、宮崎県からの通知、各種報告書の内容、全国産業廃棄物連合会の理事会、各専門部会の議事録等を収集し、協会ホームページ、メール、FAX等により情報提供した。

また、「おおよど30号」を400部作成し、会員や県、市町村、関係機関(排出事業

者団体等)、各県産業廃棄物協会等に配布した。この中で、協会の取り組み状況や行政ニュース、事務局だより、会員一覧等を掲載し、会員や関係行政機関、排出事業者等の利便に供した。

#### (5) 調査研究事業

産業廃棄物処理業の現状について見聞を広め、今後の事業展開に活かしていくために、10月17日(火)から19日(木)にかけ、最新のリサイクル企業や再資源化のトップランナーであり最新技術の開発に挑戦している企業として、沖縄県の(株)トリム、(株)街クリーン、(株)拓南商事、(株)バイオマス再資源化センターを視察した。

可能な限り県内でリサイクルする取組や前処理工程の効率化、圧縮・減容という既成概念にとらわれない製品開発など参考となる点が多く、今後の事業展開に大いに参考となった。

また、昨年に引き続き第21回目となる協会と宮崎県、宮崎市との意見交換会を12月15日に開催し、優良産業廃棄物処理業者認定制度の推進や電子マニフェストの普及推進、「みやざきリサイクル製品認定制度」の今後のあり方、産業廃棄物処理業に従事する「一般従事者」のレベル向上策など、関心の高い問題について意見交換を行ない、今後も情報交換をしていくこととなった。

さらに、平成23年度から7年目となる「愛の血液助け合い運動月間」(7月)に協賛し、収集運搬部会会員の車両(約200台)に横幕を掲出し、県民への献血に対する理解と協力の啓発活動を行った。

#### (6) 支部、部会実務研修会の開催

| 支部名 | 実施状況   |
|-----|--|
| 県 央 | 日 時 平成29年4月20日<br>場 所 エアラインホテル<br>テーマ 産業廃棄物収集運搬業の許可申請等の手続きについて<br>宮崎市における産業廃棄物処理の状況等について |
| 県 西 | 日 時 平成29年5月12日<br>場 所 メインホテル中村<br>テーマ 南海トラフ地震対策について                                      |
| 県 北 | 日 時 平成29年5月18日<br>場 所 旬鮮工房 源太<br>テーマ 労働災害の発生状況と安全対策について                                  |
| 県 南 | 日 時 平成29年5月24日<br>場 所 創客創人センター   |

また、収集運搬部会や中間処理部会、最終処分部会、医療廃棄物部会、建設廃棄物部会では、全国産業廃棄物連合会や九州地域協議会の各部会資料をもとに、幹事会や部会を開催し、開催結果の報告や協議内容の確認を行い、情報の共有に努めた。

(7) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会、九州地域協議会主催の会議等への参加  
上記団体が開催する全国会議に延べ16回、九州ブロック会議に延べ26回出席し、産業廃棄物の適正処理に係る課題について、協議・検討を行った。

- ◇全国産業廃棄物連合会第7回通常総会 1回
- ◇産業廃棄物と環境を考える全国大会 1回
- ◇全産連新年賀詞交換会 1回 ◇全国正会員理事長・会長会議 1回
- ◇全産連青年部協議会幹事会等 延べ14回 ◇全国正会員事務局責任者会議 2回
- ◇九州地域協議会全体会議・会長会議 延べ6回
- ◇九州地域協議会事務局長会議 2回
- ◇九州地域協議会の各部会
  - 収集運搬部会 2回、中間処理部会 2回、最終処分部会 2回
  - 建設廃棄物部会 1回、医療廃棄物部会 2回、優良認定制度連絡協議委員会 2回
  - 青年部会 4回

(8) 優良産廃業者認定制度への取り組み

九州地域協議会の優良認定制度連絡協議委員会に出席し、各県との情報交換に努めたほか、優良認定基準の一つである「エコアクション21」取得のためのセミナー参加の呼びかけを行った。

(9) 組織の拡大強化、コンプライアンス向上の普及啓発

処理業者講習会出席業者のうち非会員に対して、協会パンフレットを配布し入会の案内を行い、会員数の増加を図った。

平成29年度の会員の入退会状況は、次のとおり。

| 区分   | 年度当初 | 入会 | 退会 | 年度末 |
|------|------|----|----|-----|
| 正会員  | 205  | 2  | 0  | 207 |
| 賛助会員 | 7    | 0  | 0  | 7   |
| 合計   | 212  | 2  | 0  | 214 |

また、28年1月に愛知県で発生した食品廃棄物の横流し事件を受けて、自社の産業廃棄物処理体制の再点検と法令遵守の徹底を図るため、関係会員あてに、全国産業廃棄物連合会が作成した「産業廃棄物処理業[廃棄食品 堆肥化・飼料化]実地確認チェックリスト」や環境省と農水省が策定した「食品リサイクル法に基づく食品廃棄物の不適正な転売の防止の取組強化のための食品関連事業者向けのガイドライン」等の周知を引き続き行った。

(10) 暴力団等反社会的勢力の排除

「暴力団等反社会的勢力排除宣言文」を会員事業所に掲出し、来客や社員に対して意識の高揚を図った。

## 2 産業廃棄物の適正処理に関する公益社団法人全国産業廃棄物連合会等からの受託事業

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが主催する許可申請に関する講習会及び特別管理産業廃棄物管理責任者講習会の開催日程の検討、会場の確保、受講申し込み受付、講習期間中の運営業務を行った。

### (1) 産業廃棄物許可講習会協力事業

#### ① 許可（更新）講習会（産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物）

| 課 程  | 開 催 日                    | 受講者数 |
|------|--------------------------|------|
| 収集運搬 | 平成29年7月27日(木)            | 136  |
| 処分   | 平成29年7月25日(火)<br>～26日(水) | 83   |

#### ② 許可（新規）講習会（産業廃棄物）

| 課 程  | 開 催 日                    | 受講者数 |
|------|--------------------------|------|
| 収集運搬 | 平成29年9月28日(木)<br>～29日(金) | 81   |

#### ③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

| 開 催 日         | 受講者数 |
|---------------|------|
| 平成29年9月27日(水) | 54   |

### (2) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）頒布協力事業

#### ① 紙マニフェスト頒布事業

廃棄物処理法で義務づけられている産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、（公社）全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し、販売した

| 種 類                                  | 頒布数（セット） |         |       |
|--------------------------------------|----------|---------|-------|
|                                      | 29年度     | 28年度    | 増減    |
| 産業廃棄物マニフェスト<br>（発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会） | 147,800  | 141,500 | 6,300 |
| 建設系マニフェスト<br>（発行：建設六団体副産物対策協議会）      | 76,700   | 73,100  | 3,600 |

#### ② 電子マニフェストの普及啓発、加入促進事業

（公社）全国産業廃棄物連合会の委託を受け、電子マニフェスト移行促進のための導入実務研修会を県内3会場で開催した。なお、29年度末の全国の電子化率は50%を超えたところである。

## 3 産業廃棄物の適正な処理及び再生利用に関する宮崎県、宮崎市からの受託講習会の開催

### (1) 産業廃棄物排出事業者講習会

県内8保健所管轄区域毎の8会場で開催し、産業廃棄物の排出事業者として守るべき基本的な事項について理解を深めてもらうため、講義形式による研修を行った。

| 地区  | 開催日            | 会場           | 受講者数 |
|-----|----------------|--------------|------|
| 宮崎  | 平成29年10月4日(水)  | J A・AZMホール   | 113名 |
| 延岡  | 平成29年10月11日(水) | 延岡市社会教育センター  | 44名  |
| 都城  | 平成29年10月30日(月) | 都城ウエルネス交流プラザ | 41名  |
| 日南  | 平成29年10月31日(火) | 日南保健所        | 46名  |
| 小林  | 平成29年11月2日(月)  | 小林保健所        | 30名  |
| 日向  | 平成29年10月3日(火)  | 日向保健所        | 37名  |
| 高鍋  | 平成29年10月23日(月) | 高鍋保健所        | 49名  |
| 高千穂 | 平成29年10月24日(火) | 高千穂保健所       | 31名  |

◇講師：公益社団法人全国産業廃棄物連合会専任講師

村田弘氏、田尾利光氏

宮崎県循環社会推進課及び各県税・総務事務所の担当職員

◇内容：産業廃棄物の処理に関する基本的事項

委託契約書の締結、マニフェスト制度、廃棄物処理法の罰則

建設リサイクル法について他

## (2) 産業廃棄物処理業者講習会

県内3会場において、産業廃棄物の適正処理を進めるための基本的事項を学ぶ研修会を開催した。

| 会場 | 開催日            | 会場            | 受講者数 |
|----|----------------|---------------|------|
| 宮崎 | 平成29年10月6日(金)  | 宮崎市民文化ホール     | 113名 |
| 延岡 | 平成29年10月27日(金) | 延岡市社会教育センター   | 78名  |
| 都城 | 平成29年11月1日(水)  | 都城市ウエルネス交流プラザ | 65名  |

◇講師：公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター専任講師

山田正二氏

宮崎県循環社会推進課及び各県税・総務事務所の担当職員

◇内容：産業廃棄物処理に関する基本的事項、産業廃棄物処理法の概要

産業廃棄物の処理フロー、マニフェスト、帳簿、保管基準、欠格要件、

水銀廃棄物ガイドライン他

## (3) 電子マニフェストシステム操作説明会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが進める電子マニフェストシステム(JWNET)の導入促進のための操作説明会を開催した。

◇日時：平成29年10月25日(水) 10:00～、14:00～

◇場所：(株)宮崎県ソフトウェアセンター

◇講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター派遣講師 1名

◇参加者：午前の部 5名 午後の部 9名



#### 4 産業廃棄物の適正な処理を図るための排出事業者に対する協力要請に関する事業

##### (1) ホームページによる情報発信事業

本協会の事業活動について、最新の情報を提供するとともに、産業廃棄物の処理に関する行政からの通知等を発信できるよう運用に努めた。

また、産業廃棄物を適正に処理できる会員業者を一般の排出事業者や県民が容易に検索できる「処理企業検索システム」をホームページで運用し、会員業者の受注拡大に努めた。

##### (2) 適正処理に関する各種情報の提供

排出事業者、処理業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する問い合わせ、相談に対して、適切な指導・助言を行い、必要に応じて会員の中から専門の処理業者を紹介した。

また、県民からの廃棄物処理等に関する疑義・照会に対して、関係機関や行政に確認した上で、収集した情報を整理し、回答や資料の提供を行った。

さらに、排出事業者を対象とした各種講習会の開催情報を提供した。

##### (3) 労働安全衛生（リスクアセスメント）の取り組み

宮崎労働局や関係機関からの労働安全衛生に関する法令改正情報や周知依頼項目等を会員に提供するとともに、会報「おおよど30号」に会員企業3社の「労働安全衛生活動への取り組み事例」を掲載し、取り組み見直しの際の参考とした。また、労働安全衛生委員会を開催し、当協会における「平成30年度労働災害防止計画（案）」を作成するなど、今後の取り組みについて協議・検討した。

##### (4) 災害廃棄物の処理体制の構築等

11月3日（金・祝）に宮崎港をメイン会場に宮崎県庁講堂、宮崎市立大宮小学校、宮崎市郡医師会病院、都城トラック団地協同組合等の各会場で実施された「平成29年度宮崎県総合防災訓練」に参加し、県や市町村等の行政機関や県建設業協会等関係団体と連携しながら、災害廃棄物の迅速な処理を進めるための課題や連絡体制構築の協議・検討を行った。協会では対策本部、協会本部、協会支部間の連絡訓練と協会支部での支援班の班編制訓練を行った。

また、延岡市、宮崎市に続き、11月13日（月）には、日向市との間で「災害時における廃棄物の処理等に関する協定書」を締結し、災害廃棄物の円滑な処理のために日向市から協会へ協力を要請する場合に必要な事項を定めた。さらに、未締結の市町から依頼をいただき今後の協定締結に向け協議を進めている。

### Ⅲ 管理事業

#### 1 会議の開催

##### (1) 第5回通常総会

日 時：平成29年6月7日（水）

場 所：ホテルスカイタワー（宮崎市）

出席会員数：171社（うち委任状提出108社）

議 案

第1号議案 平成28年度事業実績報告の承認に関する件

第2号議案 平成28年度収支決算報告の承認に関する件、平成28年度監査報告

第3号議案 平成29年度事業計画(案)の承認に関する件

第4号議案 平成29年度収支予算（案）の承認に関する件

以上4議案について、提案し、全議案とも異議なく承認された。

##### (2) 理事会

年6回開催し、事業計画に基づく事項等の執行について、審議・承認された。

また、時々の協会の業務執行、運営状況等について報告がなされた。

| 開催月等            | 主 な 議 題   |
|-----------------|---|
| 第1回<br>5月16日(火) | 1 入会申込者の承認について<br>2 平成28年度事業実績報告について<br>3 平成28年度収支決算及び監査報告について<br>4 平成28年度公益目的支出計画実施報告について<br>5 平成29年度事業計画(案)について<br>6 平成29年度収支予算(案)について<br>7 平成29年度協会長被表彰者の決定について<br>8 日向市との「災害廃棄物の処理等に関する協定」について<br>9 その他 報告事項5件  |
| 第2回<br>7月21日(金) | 1 委員会、部会の事業計画について<br>2 平成29年度リサイクル製品認定制度事業の実施について<br>3 平成29年度先進処理施設視察研修について<br>4 産業廃棄物不法投棄防止啓発キャンペーン実施計画について<br>5 産業廃棄物税の使途事業について<br>6 産業廃棄物の適正処理に係る啓発用看板設置について<br>7 第70回九州地域協議会提案議題について<br>8 環境フェスタ2017について<br>9 平成29年度九州北部豪雨に係る災害義援金について<br>10 災害時における支援のための連絡先等の調整について<br>11 その他 報告事項16件 |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>第3回<br/>9月14日(木)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 入会申込者の承認について</li> <li>2 全国産業廃棄物連合会の名称変更及び協会の名称変更について</li> <li>3 平成29年度みやざきリサイクル認定製品募集状況等について</li> <li>4 「第24回みやざきテクノフェア」出展について</li> <li>5 平成29年度宮崎県総合防災訓練について</li> <li>6 産業廃棄物適正処理啓発看板設置について</li> <li>7 産業廃棄物不法投棄防止啓発キャンペーン実施計画について</li> <li>8 日向市との災害協定の締結について</li> <li>9 会報「おおよど第30号」の編集について</li> <li>10 第21回宮崎県・宮崎市との意見交換会提案議題等について</li> <li>11 その他 報告事項12件</li> </ol> |
| <p>4回<br/>11月24日(金)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第21回宮崎県・宮崎市との意見交換会提案議題と提案趣旨説明者について</li> <li>2 会報「おおよど第30号」の発行と編集作業の進捗状況について</li> <li>3 平成29年度宮崎県総合防災訓練について</li> <li>4 日向市との「災害廃棄物の処理等に関する協定」締結について</li> <li>5 その他各市町村との「災害廃棄物の処理等に関する協定」の進捗状況について</li> <li>6 「第24回みやざきテクノフェア」出展について</li> <li>7 平成29年度みやざきリサイクル認定製品について</li> <li>8 その他 報告事項15件</li> </ol>  |
| <p>第5回<br/>1月25日(木)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成29年度リサイクル認定製品パンフレットについて</li> <li>2 平成30年度全産廃連表彰功労者表彰及び優良事業所表彰者の推薦について</li> <li>3 その他 報告事項11件</li> </ol>   |
| <p>第6回<br/>3月23日(金)</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度支部事業計画及び予算(案)について</li> <li>2 平成30年度協会事業計画及び予算(案)について</li> <li>3 県協会長表彰被表彰者の推薦について</li> <li>4 平成30年度先進地視察研修について</li> <li>5 平成30年度宮崎県総合防災訓練について</li> <li>6 その他 報告事項10件</li> </ol>   |

(3) 委員会、部会

① 総務企画委員会

各支部選出の協会役員の推薦、29年度協会長表彰対象者の推薦、委員会、部会の構成等について、協議・検討を行った。

② 適正処理委員会

産業廃棄物の適正処理を推進するため、中間処理やリサイクルの先進処理施設視察研

修を行うこととし、視察研修先や視察内容等の協議・検討を行った。また、新たな委員会活動について協議・検討を行った。

③ 会報編集委員会

会報「おおよど30号」の編集方針を決定し、原稿収集、編集作業等を行い、1月に印刷・発行した。

④ リサイクル製品認定・利用促進制度検討委員会

6月に、29年度認定製品の募集要領、品目別運用基準、応募の手引き、年間スケジュールの検討等を行った。

10月に、応募のあった製品について現地確認調査を実施した。

1月に、製品認定事業の実績報告、利用促進のためのパンフレットの作成、30年度募集要領（案）、スケジュール（案）等について、協議を行った。

また、12月から2月にかけて、認定製品の安全性の確認のためフォローアップ調査を実施した。

⑤ 安全衛生委員会

全産廃連において平成29年度からの3年間を期間とする「労働災害防止計画」を策定し産業廃棄物処理業界における安全衛生の向上に取り組むこととなったことから、当協会における「平成29年度労働災害防止計画」を着実に実行するとともに、「平成30年度労働災害防止計画」を策定するなど積極的に計画を推進した。

⑥ 収集運搬部会

12月の合同研修会において、全産廃連や九地協部会の協議状況の報告を行い、情報の共有を図った。また、九地協優良認定制度連絡協議委員会での協議状況の報告や各県の活動報告を行った。

⑦ 中間処理部会

28年度から、九地協部会の部会長を務めることとなり、2年目となる今年度は11月に鹿児島県で、1月には沖縄県で九地協部会を開催し、全産廃連中間処理部会運営委員会の報告や各県の活動報告・情報交換等を行った。また、12月の合同研修会においては、水銀含有廃棄物や小型家電の取扱いの動き、中国の廃棄物処理行政の変化による影響等について報告を行った。

⑧ 最終処分部会

部会員を対象に研修会・交流会を開催し、県内の最終処分場への搬入量の動向やエコクリンプラザ宮崎における最終処分量の推移、将来計画について学ぶとともに、全産廃連最終処分部会運営委員会の報告や各県の活動報告・情報交換等を行った。

⑨ 建設廃棄物部会

部会員を対象に研修会・交流会を開催し、九地協部会、九州地方整備局との意見交換会、及び宮崎県・宮崎市との意見交換会等について報告。また、今年度下期から建設産業専門団体九州地区連合会に加入し、九州地方整備局や県等への意見交換の場を設けるとともに、最近の業界事情等について情報交換を行った。

⑩ 医療廃棄物部会

年2回部会を開催し、九地協部会への提案議題の検討、開催結果の報告、最近の課題等について、意見交換を行った。

⑪ 青年部会

5月に通常総会を開催した。6月には宮崎港東埠頭において、CSR2プロジェクト(企業の社会的責任)として、九州一斉の清掃・廃棄物撤去作業を青年部が中心となって開催し、7月には北部九州豪雨の復興ボランティアへ参加した。

11月には宮崎市の(株)環境未来恒産等の視察・見学を含む鹿児島県青年部との交流会や徳島市で開催された全国カンファレンスに参加。さらに、2月には九地協青年部の幹事会とBCP研修会を本県で開催するなど、積極的に他県青年部との交流や情報交換に努めた。

また、青年部独自で5月の通常総会に併せて、産業廃棄物処理業における安全衛生活動に関する研修会や交流会を開催し、資質の向上に努めた。

## 2 事務局の運営

事務局長ほか2名で、協会で実施する各種事業の企画・立案、準備・運営等の業務のほか、産業廃棄物処理業者や排出事業者の窓口として、産業廃棄物に携わる関係団体、企業からの相談、一般県民からの問い合わせ等に対応した。

なお、平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書はありません。